電子数取器　取扱説明書

DK-2300

この度は当社の製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この製品を安全に正しくご使用頂くために、ご使用前に
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管してください。

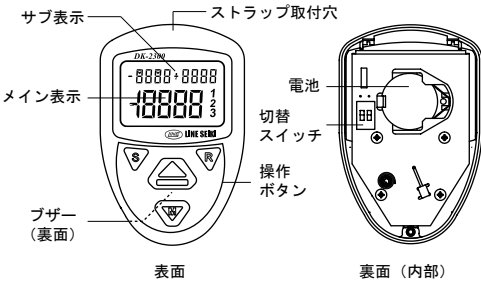
⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、取扱者が傷害を負う恐れのある場合や機器を損傷する恐れのある場合の注意事項を記載しています。

●お問い合わせは下記まで
LINE ライン精機株式会社
本　　社・〒152-0001　東京都目黒区中央町2-37-7
・　　　・TEL:03-3716-5151(代)・FAX:03-3710-4552
大　　阪・TEL:06-6538-0365(代)・FAX:06-6538-0315
メールアドレス・webtrade@line.co.jp
ホームページ・http://www.line.co.jp

⚠ ご使用上の注意

・本器を強い電磁波を出す機器の近くや静電気のたまっている物体の近くで使用しないでください。
・本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
・本器は防水形ではありませんので、水中や水のかかる場所での使用は避けてください。
・本器を直射日光、ほこり、高温多湿での使用、保管をしないでください。
・電池を確実にケースに入れて使用してください。
・長期間本器を使用しない場合は、電池を外して保管してください。
・本器の分解、改造等を絶対に行わないでください。
・本器は、液晶部分に保護シールが貼られた状態で出荷されています。

1. 各部名称

表面　　裏面（内部）

2. 仕様

形　式	DK-2300
表　示	メイン表示：7セグメントLCD 4.5 桁(10mm（文字高)） サ　ブ表示：7セグメントLCD 4　桁(5mm（文字高)）
計数範囲	メイン表示：-9999 ~ 19999 サ　ブ表示：-9999 ~ 9999
電　源	3V CR2032 電池内蔵　電池寿命約1.5年*
使用温湿度範囲	5°C ~ +40°C / 85% RH (結露しないこと)
保管温度	-10°C ~ +60°C
規　格	CE規格 準拠
質　量	約40g (電池含む)

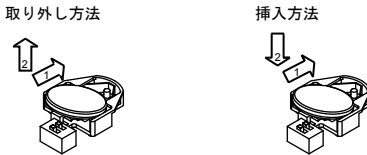
*本器は電池を内蔵した状態で販売しておりますが、その電池の残りの容量は少なくなっている可能性があります。また、電池寿命は使用条件によって異なる場合があります。

3. 電池交換

表示が薄くなったり消えた場合は、電池を交換してください。
1. 裏側のカバー下部にあるネジを外してカバーを開けてください。
2. 電池を左から右方向へ押して、そのまま上に持ち上げ電池ホルダーから外してください。(下図の取り外し方法を参照してください)
3. 新しい電池を左から右方向へ差し込みながら電池ホルダーにはまるように押し下げてください。(下図の挿入方法を参照してください)

※ ツメを押し広げるとスムーズに電池を外したりはめたりできます。

取り外し方法

挿入方法

●注意
電池が消耗したり、電池交換の際にはメモリーされているデータは全て消去されます。

4. 操作方法

DK-2300は、４つの使い方ができる電子数取器です。タイプの選択は、裏側内部にある切替スイッチによって選択できます。

切替スイッチの設定

タイプ変更する場合は、裏側の電池を外してから切替スイッチを希望タイプに設定してください。

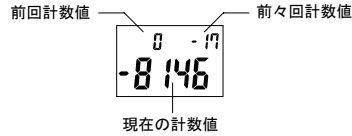
タイプ	スイッチ１	スイッチ２
タイプ１ 加算減算カウンタ	ON	ON
タイプ２ ２連式加算カウンタ	ON	OFF
タイプ３ ３択加算減算カウンタ	OFF	ON
タイプ４ メモリー付加算カウンタ	OFF	OFF

*初期状態は、タイプ１の加算減算カウンタに設定されています。

ブザーの設定

本器はブザーを内蔵しています。下記の方法で設定してください
●タイプ１～３
リセットボタンを押し続けると、ブザー機能がオンもしくはオフされます。この場合、計数値はリセットされます。
ご注意ください。
●タイプ４
カウントモード時*にリセットボタンを押し続けると、ブザー機能がオンもしくはオフされます。この場合、計数値はリセットされます。ご注意ください。
*カウントモード時については、操作方法の「タイプ４：メモリー付加算カウンタ」を参照してください。

タイプ１：加算減算カウンタ

表示サンプル

ボタン操作

タイプ	▲	W	R	S
タイプ１ 加算減算カウンタ	Up	Down	リセット	機能なし

Upボタン/Downボタンでそれぞれ加算/減算が行えます。メイン表示の値が現在の計数値です。計数範囲は-9999～9999です。計数範囲を越えてボタンが押された場合は、Errorと表示されます。サブ表示には、前回と前々回の計数値が表示されます。
リセットボタンを押すとメイン表示値はゼロとなり、今までの表示値はサブ表示の左上に表示されます。左上の表示値は右上に移動します。右上の表示値は消去されます。

タイプ２：演算（和・差）表示付２連式加算カウンタ

表示サンプル

ボタン操作

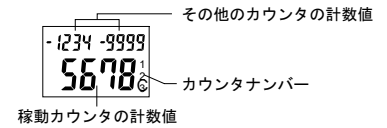
タイプ	▲	W	R	S
タイプ２ ２連式加算カウンタ	Up (カウンタＡ)	Up (カウンタＢ)	リセット	セレクト (+/-)

カウンタＡを加算するにはUp(カウンタＡ)ボタンをカウンタＢを加算するにはUp(カウンタＢ)ボタンを押してください。
計数範囲は0～9999です。計数範囲を越えてボタンが押された場合はErrorと表示されます。メイン表示値はカウンタＡ・Ｂの和もしくは差を表示します。
セレクトボタンを押すと、和・差の表示を切替えます。和・差の表示値範囲は-9999～19998です。
リセットボタンを押すと全ての表示値がゼロとなります。個別にリセットすることはできません。ご注意ください。

●注意

Errorと表示された場合
カウント中に計数範囲を越えた場合、Error表示されます。
Error表示中は、それ以上の計数ができません。
リセットボタンを押してError表示を解除してください。
計数値がゼロになったらカウントが行えます。

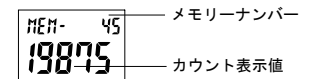
タイプ３：３択（３者択一）加算減算カウンタ

表示サンプル

ボタン操作

タイプ	▲	W	R	S
タイプ３ ３択加算減算カウンタ	Up	Down	リセット	シフト

Upボタン/Downボタンで、メイン表示の計数値をそれぞれ加算/減算が行えます。計数範囲は-9999～9999です。計数範囲を越えてボタンが押された場合は、Errorと表示されます。
シフトボタンを押すと、３つのカウンタが時計回りに移動します。現在有効になっているカウンタの番号はメイン表示の右側にあるカウンタナンバーで確認することができます。
リセットボタンを押すと、現在有効になっているカウンタのメイン表示の計数値はゼロとなります。

タイプ４：メモリー付加算カウンタ

表示サンプル

ボタン操作

タイプ		▲	W	R	S
タイプ４ メモリー付 加算カウンタ	カウント モード	Up	Memory	リセット	シフト
	メモリー 呼び出し モード	Scroll Up	Scroll Down		

●カウントモード
Upボタンで0～19999まで計数可能です。計数範囲を越えてボタンが押された場合は、Errorと表示されます。
計数値をメモリーさせるにはMemoryボタンを押してください。
メモリーされるとメモリーナンバーが1つ加算されます。メモリーは最大で59件できます。それ以上メモリーさせようとした場合は、FULLと表示されます。
リセットボタンを押すとメイン表示値の計数値がゼロとなります。
●メモリー呼び出しモード
シフトボタンを押すと、メモリー呼び出しモード機能がオンもしくはオフされます。オンの場合は、MEMとメモリーナンバーが点滅します。メイン表示値にはメモリーされた計数値が表示されます。
サブ表示のメモリーナンバーで何番目にメモリーされた計数値なのかを確認することができます。
Scroll Up/Downボタンでメモリーナンバーを変更してメモリーした計数値を見ることができます。メモリーを消去する場合は、リセットボタンとScroll Downボタンを押してください。全てのメモリーが消去されます。またカウントモード時の計測値もゼロにリセットされます。メモリーを個別にリセットすることはできません。ご注意ください。

本紙は2007年2月21日現在のものです。 4DK2001B
記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。